出土品2204点を重文に

文化審答申　世界遺産登録に向け弾み

町内の遺跡から出土した国産陶器

文化庁の文化審議会は３月19日、柳之御所遺跡など町内の遺跡から出土した奥州藤原氏に関連する平安時代末期の考古資料を、一括で重要文化財に指定するよう答申しました。指定の対象となったのは、町や県教育委員会、県埋蔵文化財センターなどが平成15年までに行った発掘調査で出土した遺物から、主要なものとして絞り込まれた１２６２点（町の所有品）と、柳之御所遺跡堀内部地区から出土した主要な遺物９４２点（県の所有品）の合計２２０４点です。

具体的には▽かわらけ▽国産の陶器▽輸入された陶磁器▽瓦などの土製品▽木製品▽木簡▽漆製品▽石製品▽金属製品▽骨角製品▽ガラス製品―などがあります。普段の生活で使われていたもの、まじないで使われたもの、遊び道具などバラエティに富んだ内容となっています。これらの遺物は当時の人々の生活様式や嗜好、貿易や物流の様子をよく表している資料であることが評価されました。柳之御所遺跡出土品は、絵画や文字の書かれた木製品が多いことや、輪宝や花瓶などの金属製品が見られることが特徴で、当時の建築様式や儀礼を具体的に知ることのできる貴重な遺物です。また宿遺跡や本町Ⅱ遺跡など、平泉遺跡群の外郭を構成する遺跡からの出土品も含まれています。

これらは国や地域の大切な財産として保存・活用し、永く伝え残していかなければなりません。今後とも文化財保護に対する皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

なお今回の指定で重要文化財となった資料の一部は、平泉文化遺産センターと柳之御所資料館（４月24日リニューアルオープン）で展示しますので、ぜひご覧ください。また、４月下旬から東京・上野の東京国立博物館で開催される「平成22年新指定国宝・重要文化財展」でも町の資料が展示されます。

問い合わせ先　平泉文化遺産センター　☎46－4012

平泉再発見絵地図が完成しました！

完成した平泉再発見絵地図

３月13日に開かれた第５回をもって「マップづくり懇談会」は全日程を終えました。そして、検討を重ねてきた「平泉再発見絵地図　あなたにそっと伝えたい　とっておきの平泉」がついに完成しました！

この地図は「従来の観光マップに載っていないような平泉住民のとっておきの場所を、観光客に伝える」という趣旨の下、「まちスポコン平泉」で募集したお薦めスポットを基に「マップづくり懇談会」での議論を経て作成されました。作成に当たっては多くの方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

再発見絵地図は、皆さんに見ていただくため今月号の広報と一緒に各家庭へ配布しました。ぜひご覧ください。また絵地図は、観光協会などにも設置する予定です。

問い合わせ先…観光商工課　☎46-5572

世界遺産登録　再チャレンジ

平泉の文化遺産は、平成23年の世界遺産登録を目指して、再チャレンジがスタートしました。このコーナーでは、登録に向けた取り組み状況についてお知らせしていきます。

第16回　資産の価値を共有する

平成20年５月のイコモス勧告は、再推薦の前提として無量光院跡と中尊寺境内の大池跡の調査・復元を求めるものでした。しかし世界遺産委員会は、平泉の再推薦についてあまり制約しないよう配慮し、庭園整備にかかわる部分を削除して決議されました。この時、イコモスの勧告文のまま決議されていたら、再チャレンジそのものを断念せざるを得なかったかもしれません。とはいえ、今回のイコモス現地調査でも、庭園の調査・整備の具体的な取り組みや、将来計画についてきちんとした回答が求められることはいうまでもありません。

無量光院跡と大池跡では、現在も発掘調査が計画的に行われており、復元整備も構想されていますが、調査中でも整備の途中でも、現地でその価値が共有できるような情報提供の仕組みが必要になります。

説明版や解説パネルなど一般的なもののほか、例えば現地の風景にバーチャル（仮想現実）の映像を重ね合わせて実体視するコンピューターグラフィックスの設備、またインターネットを利用し携帯電話やパソコン上で動画情報を公開するなど、いくつかの方法が考えられるのです。

史跡を生かすことは、その土地の歴史を尊重したまちづくりに結び付きます。遺産の素晴らしさを認め合い価値を共有していくためにも、周辺環境も含めた史跡整備がますます重要になります。

コンピューターグラフィックスで復元された無量光院

４月24日　柳之御所史跡公園が開園

県教育委員会では、町民の皆さまのご理解とご協力を頂きながら、17年度より柳之御所遺跡の整備工事を進めてまいりましたが、このたび「柳之御所史跡公園」として公開する運びとなりました。この史跡公園は、奥州藤原氏の政治の中心である「平泉館（ひらいずみのたち）」と考えられている柳之御所遺跡を再現することにより、多くの方々に平泉文化をご理解いただくことを目的としています。園内には、幅が17㍍、深さが４㍍もある堀や石敷きの池、井戸、平面的に表示した建物などを、発掘調査の成果に基づいて復元しています。また柳之御所資料館も開園に合わせ、柳之御所遺跡を紹介するガイダンス施設として改修いたしました。館内には、遺構の解説や復元の考え方を展示しているほか、儀式の場として想定している中心建物をコンピューターグラフィックスによって復元した映像で見ることができます。なお資料館内に展示されている柳之御所遺跡からの出土品は、国の重要文化財に指定されることになっています。柳之御所史跡公園に町民の皆さまにもぜひご来園いただき、束稲山の素晴らしい眺めとともに、奥州藤原氏時代の空間を体感していただければ幸いに思います。

問い合わせ先…県教委生涯学習文化課
（平泉遺跡群調査事務所）☎46-2820

◀４月24日に開園する柳之御所史跡公園

◎柳之御所史跡公園
【開園時間】９：00～17：00（11～３月は16：30まで）
◎柳之御所資料館
【開館時間】９：00～17：00
【休園日・休館日】年末年始（12月29日～１月３日）
【入園料・入館料】無料
※４月24日（土）開園予定